

阪神南県民センターからのお知らせ

阪神南版の
問い合わせは

阪神南県民センター県民躍動室総務防災課へ
〒660-8588 尼崎市東難波町5-21-8

☎06-6481-7641 ☎06-6481-8148

ホームページ 阪神南県民センター
尼崎総合庁舎 ☎06-6481-7641 (代表)

困ったとき、まずは[さわやか県民相談]へ
☎0120-13-7830 (携帯電話からは代表番号へ)
【受付】平日(祝日等を除く)9時~17時30分

呼吸器感染症を予防しましょう

呼吸器感染症とは、喉や肺などの呼吸器に炎症を起こす病気です。結核やマイコプラズマ肺炎には要注意です。せきやたん、発熱、体のだるさなどの症状が長引くときには、医療機関を受診しましょう。薬が処方されたら、指示通りにきちんと服薬することも大切です。



☎芦屋健康福祉事務所地域保健課 ☎0797-26-8152 ☎0797-38-1340

結核とは 昔の病気と思われがちな結核ですが、それは大きな誤解です。県内では、2023(令和5)年に550人が新たに結核と診断されました。今も感染する人や、結核によって命を落とす人もいます。

どんな病気

患者のせきやくしゃみなどによって空気中に浮遊した「結核菌」を吸い込むことで、感染します。

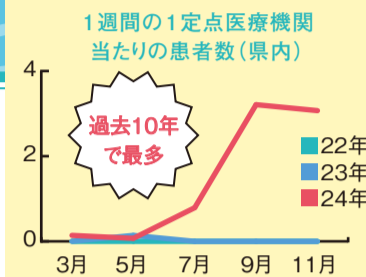
患者の多い年代は

新たに発病する患者の7割以上は70歳以上の高齢者です(22年時点)。



マイコプラズマ肺炎とは

1年を通じて見られますが、秋から冬にかけて増加する傾向があります。



どんな病気

感染者のせきのしぶきを吸い込んだり、感染者と接触したりすることで「肺炎マイコプラズマ」という細菌に感染します。

患者の多い年代は

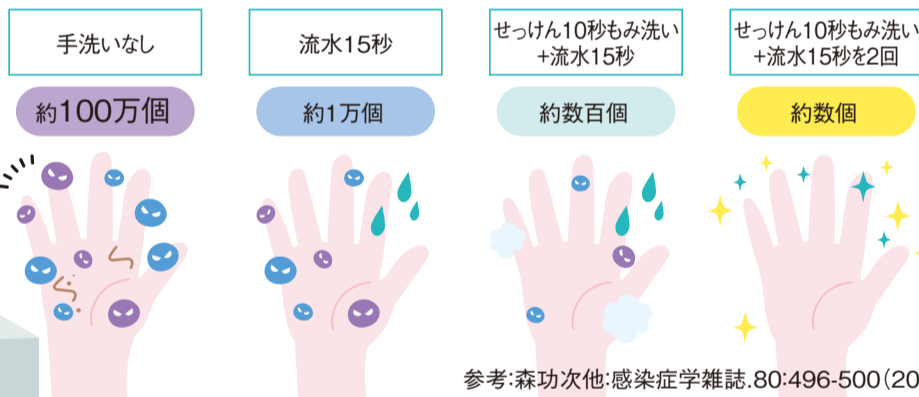
大人でも感染しますが、患者の約8割が14歳以下の子どもです。



予防のために手洗いを

手や指に付いた菌は洗い流すことが最も重要です。

菌をしっかりと洗い流すには「せっけんで10秒もみ洗い+流水15秒を2回」を心がけましょう。



洗い残しの起こりやすい部位

●頻度が高い ●頻度がやや高い



手の甲 手のひら

出典:辻明良「微生物学・感染制御学」メヂカルフレンド社

他の予防法も

- せきエチケット**
せきやくしゃみをするときは、マスク、ハンカチ、袖などで鼻と口を覆いましょう。
- 換気**
1時間に2回以上、数分間、2方向の窓を開けましょう。



インフォメーション

イベント等は延期・中止の場合があります

市民すこやかセミナーの参加者募集

県立尼崎総合医療センターでは、健康、医療の身近なテーマのセミナーを開催しています。今回は「おしっこ漏れて困っていませんか」をテーマに泌尿器科医師などが講演します ☎12月20日(金)14時30分~15時30分 同センター ☎無料 ☎同センター ☎06-6480-7720 ☎06-6480-7721

尼崎総合医療センター 市民すこやかセミナー

HIV感染者が7年ぶりに増加しています

早期発見のためにHIV検査を受けましょう。現在では、さまざまな治療薬が開発され、早くから適切な治療を続ければ、通常の生活を送ることができます。HIV検査、梅毒検査(即日)、肝炎検査は匿名、無料で受けられます ☎検査前日までに ☎で芦屋健康福祉事務所地域保健課へ ☎0797-26-8152 ☎0797-38-1340 兵庫県 HIV・エイズに関する情報

兵庫県 HIV・エイズに関する情報